Myコミ協 やまがた

No. 17

発行日　平成27年3月31日
発　行　山潟地区コミュニティ協議会
総務部会
事務局　山潟会館内
☎ 025－286－0155
FAX 025－286－0245
新潟市補助事業

備え・命と・絆と

安心安全部会長　稲場　孝治

【備え】新潟町と沼垂町が合併し百年が経過、最近は政令指定都市となり素晴しい発展を遂げ続けることに先達に感謝です。

直近で大きな地震と津波が神戸・中越・東日本を襲っており次は何処と日本列島を震撼とさせている、災害は防災・減災で防げれば理想だが常日頃からの備えが最も必要であります。

【命と】昨年の防災訓練は十一月十六日山潟小学校の体育館を借りハイパージュニアレスキュー隊（山潟中学生）によりダンボールでの仮設ベットやトイレでの避難場所設置訓練と地域消防団での人命救助訓練を、以前よりも趣向を変え実施した地域指導者養成に貢献し、自分の命は自分で守ることの重要性の再認識を実感を出来ることは何にも勝る大きな宝を得たところです。

【絆と】人は一人では絶対に生きては行けず、常に集団で行動と助け合いの必要性を理解し、特に窮地（避難所）に直面の場合集団生活や互いの絆の重要性に気付くはずである。

防災や避難訓練は何故必要でしょうか、スポーツの選手が大会で悔いを残さない為に何千回何万回の練習を切磋琢磨の上から勝ち取るように、防災や避難訓練も頭や口でなく身体で覚えていざという窮地の時に一人の力、三人の力（絆）で助け合の中から「何が起こるか分からない世の中こそ」訓練が必要です。

完璧な防災訓練は無い、更にレベルアップして頑張りたい！

安心安全部会講習会
不審者対策防犯講習

三月十五日、山潟会館二階大ホールで佐藤輝昭防犯指導員講師にお招きして安心安全部会主催の防犯講習会が開かれました。

最初に、「特殊詐欺」についてのお話があり、その中で特に今話題となっている還付金詐欺についての説明がありました。話題にはなっていますが、その巧妙なやり方に驚く事ばかりでした。

その後に空き巣についてのお話があり、空き巣にも色々なパターンがあるとの事でした。その対策として「鍵を開けるのに時間をかけさせる」や「センサーライトを取り付けその場を明るくする」等対策のお話がありました。

最後に、不審者についてのお話があり、子どもの安全対策にも気を付ける必要を大いに感じました。

どの内容も講師の方がうまく説明をしてくださったので、参加された皆さん聞き入っていました。

今後もこのような講習会を行っていってほしいと思いました。

鳥屋野潟の恵みを考え食する会

恒例となりました山潟地区コミュニティ協議会、鳥屋野潟21世紀の会、鳥屋野潟漁協の共同企画による「鳥屋野潟の恵みを考え食する会」が二月一日（日）山潟会館において行われました。

今年は昨年を上回る約八十名の参加があり、大盛況の中での開催となりました。

昨年同様鳥屋野漁協の方松原さんにより大きな鯉がさばかれていきました。

また、テーブルに並べられたお刺身や唐揚げを食べ、皆さん「おいしい」と大好評でした。

また新潟日報の方やフリーアナウンサーの伊勢みずほさんも取材に来られていました。実施風景が日報にも掲載されました。

参加された皆さん、「鳥屋野潟の恵み」を満喫されていました。

ぜひ来年も開催して頂きたいと思います。

第十回 男の料理教室

三月十四日、まちづくり部会主催の「男の料理教室」が記念すべき第十回となりました。

そこで今回、富樫純一部長に十回を迎えたことについて、お話を伺いました。

十回を迎えた「男の料理教室」

○Q1　十回を迎えどの様な気持ちですか？

最初から何か目標を決めていた訳でなく「まちづくり」って何だろう？と考えた時に活動を通して地域住民とコミュニケーションを図り、知り合いを増やす事かな、と思いシャイな男性の為に「男の料理教室」を始めました。

〝差別〟と云われそうですが男性に限定して良かったかな、と思います。

○Q2　一つの事業を継続して十回続ける事は大変だと思いますが、長く続けられた秘訣は何かありますか？

特に長く続いたとは思っていません。毎回楽しんでやっているので。様々な自治会の人達と料理手順を相談したり作業分担して料理をするのは楽しいのです。料理の後に一杯のビールが最高です。覚えた料理をご自宅でも作ったら家族に見直される事でしょう。楽しんでやるのが一番です。

○Q3　実施するにあたり苦労した事は？

先生（小林和英、南長潟自治会長）が元プロの調理師の方なので全てお任せしています。先生はメニュー選びから食材の調達まで毎回ご苦労されている事と思います。私達は台所用品を買い揃える位ですが最初は醤油や箸を買い忘れたりして大変でした。毎回買い忘れがないかひやひやしています。

○Q4　今後の展開は？

先生や参加者の希望を聞きながら決めて行きたいと思います。個人的には一つの食材に的を絞って（例えば豆腐料理とか油揚げ料理等）身近な食材を男性でも美味しく作れる様になったら楽しいでしょうネ。

ありがとうございました。

今後この「男の料理教室」が益々発展してもらいたいと思います。

本所防災館の視察

山潟コミュニティ協議会副会長　青柳　隼弘

平成二十六年十一月二十九日朝、東京消防庁本所防災館体験視察に出発しました。東京「そなえりあ」、「池袋防災館」視察につづき、三回目の視察となります。「そなえりあ」には、大規模な総合指揮所があり、それぞれの防災館には、防災・減災の教育、教養施設とともに、疑似体験コーナーがあります。「本所防災館は何があるか」楽しみなところです。

さて、皆さんは身近な災害は何があるのか考えていますか？災害の発生（発災と言います）何時、いかなるところで見舞われるか分からないのです。

まずは、防災シアターで、三・一一災害の映像を眼にしました。皆さんも見たことがあるかと思いますが、あまりの臨場感に退場する人も多いそうです。次は「都市型水害コーナー」です。あなたがビルの一室にいたとき、局地的集中豪雨や、津波により階段から水が流れ込んできたらどうなりますか？外開きドアは、三十センチくらいの水位で、磁力で押し開けることが出来ません。自動車運転中に車が水没したら、まづ自力で開けることは出来ません。これは貴重な体験です。

暴風雨体験は、雨具を着用しての風速三十㍍の雨風です。手摺があるのでこれに掴まったり前の人の陰になったりして、皆さん幾分余裕があったように思いますが、このような時は一人で行動してはいけませんね。

地震体験コーナーでは、テーブルが部屋の真ん中にあって、発災でテーブルの下で災害を避けるのです。震度（強度）を変えることが出来るのですが、これまでに発生した地震の震度を設定して、揺れを体験できます。突然、縦揺れが「ドン」と来る。「横揺れ」が長く続く。皆さん、テーブルの下どころか、脚に必死に掴まっていました。煙体験では「煙と下の空気の境目を避難する」など等多くに体験をさせていただきました。

今後、コミュ協では、この事業を継続するかどうか決定しておりませんが、人数に制限があるものの、地域の皆さんの多くの方に参加していただきたいと考えております。

「ここは、災害の心ぺぇもねーし、ばっか好いとこだて」なんて考えていませんか？家族の中で避難場所や、集合場所を話して、決めていますか？一時避難所を知っていますか？発災の時、町内の（班内の）誰を援護するのか知っていますか？

この地区で、地震に見舞われた時、旧村を除いた新興地は広大な液状化現象が発生すると言われています。その時あなたは、家族はどう行動されますか？時折考えてみましょう。

クリスマスコンサート

十二月七日、恒例となりました、教育・育成部会主催のクリスマスコンサートが山潟会館二階大ホールで行われました。

「シンフォニック・アンサンブル・リルト」の、すばらしい演奏で当日参加された皆さん、大いに楽しんでいただけた事と思います。

今後も毎年このようなコンサートを続けていってほしいと思います。

歳末たすけあいお楽しみ会開催

二十六年度の歳末たすけあいお楽しみ会は、十一月十八日に開催されました。

赤い羽根歳末たすけあい共同募金の助成をうけ、山潟地区内の高齢者に参加していただき、地域みなさんの交流・親睦をはかる「お楽しみ会」は、二十回目の開催となりました。

山潟地区社会福祉協議会、コミュニティー協議会、民生・児童委員協議会が結集しての事業です。

参加者、来賓、共催団体、出演者など、総勢二百二十名を超える多勢の参加で大盛況でした。

主催者と来賓の挨拶のあと、山潟保育園児の歌とお遊戯で始まり、福祉施設様の踊り等の演技を楽しみ、続いて地元長潟に伝承・保存されている「藻たぐり甚句」を堪能しました。

乾杯のあとは余興です。今年度は日頃、山潟会館を利用してレッスンをし、趣味を楽しんでいるグループに出演をお願いし、大正琴とフラダンスのグループに出演していただきました。プロ級の演奏・演技はすばらしいものでした。

最後は民生委員の十日町小唄の踊りで締めくくりました。

年々参加者が高齢化してきて送迎バスの利用希望者は増え、会場では、椅子を希望する方が増えてき、準備した椅子が足りない程でした。また、階段の上り下りにも充分な注意が必要で細心な注意を払い安全を確保しました。事故・怪我もなく、無事に会を終えることができ、地域の支え合い、助け合いの輪がまた一つ広がった「お楽しみ会」となりました。

まちづくり講演会
残された貴重な水辺「鳥屋野潟」とその将来

三月二十二日、山潟会館二階大ホールで新潟市潟環境研究所所長の大熊孝先生を講師にお招きしてまちづくり部会主催の講演会が開かれました。

講演会に入る前に、ながたの森を守る会で作成されたDVDが放映され、上空から見た鳥屋野潟近辺の映像は大変すばらしい内容でした。

その後、講演会が始まりました。その中で、以前の鳥屋野潟については、知らないことが多かったです。特に先生から見せていただいた鳥屋野潟で大勢の人がボートに乗っている風景やヨットが浮かんでいる様子などにはただただ驚かされました。

また、今後の湖岸整備等についても説明があり非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

先生は「いつも同じ内容の話をしているのでこの場で講演会を行うのはこれが最後かな」と言われていましたが、ぜひ、今後もこの地域で、講演会を行ってほしいと思います。